



染色堅ろう度試験用添付白布

JIS L 0803 : 2011

(SWTF/JSA)

平成 23 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	小川 昭二郎	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	赤松 幹之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋庭 悅子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 協会
	大熊 志津江	文化女子大学
	長見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	金丸 淳子	財団法人共用品推進機構
	河内 憲治	財団法人日本文化用品安全試験所
	河村 拓	合同会社西友
	河村 真紀子	主婦連合会
	小熊 誠次	社団法人日本オフィス家具協会
	後藤 伸二郎	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	櫻橋 晴雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	滝田 章	社団法人消費者関連専門家会議
	中里 憲司	社団法人繊維評価技術協議会
	中村 有作	財団法人製品安全協会
	夏目 智子	全国地域婦人団体連絡協議会
	畠山 孝	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	久松 富雄	財団法人家電製品協会

主務大臣：経済産業大臣 制定：昭和 40.1.1 改正：平成 23.7.20

官報公示：平成 23.7.20

原案作成者：財団法人スガウェザリング技術振興財団

(〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14 TEL 03-3354-5248)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審議部会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会（委員会長 小川 昭二郎）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 種類	2
4 品質	3
4.1 汚染性	3
4.2 抽出液の pH	6
4.3 白色度	6
4.4 単位面積当たりの質量	6
5 尺法	6
6 外観	7
7 材料	7
8 加工方法	7
9 試験方法	7
9.1 汚染性	7
9.2 抽出液の pH	8
9.3 白色度	8
9.4 単位面積当たりの質量	8
10 表示	8
附属書 JA (参考) 交織 1 号, 交織 2 号及び交織 3 号の構成	9
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	11
解 説	14

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、財団法人スガウェザリング技術振興財団（SWTF）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS L 0803:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

染色堅ろう度試験用添付白布

Standard adjacent fabrics for staining of colour fastness test

序文

この規格は、2001年に第1版として発行された ISO 105-F01, 2009年に第1版として発行された ISO 105-F02, 2001年に第1版として発行された ISO 105-F03～ISO 105-F05, 2000年に第1版として発行された ISO 105-F06, 2001年に第1版として発行された ISO 105-F07, 2009年に第1版として発行された ISO 105-F09 及び 1989年に第1版として発行された ISO 105-F10 を基とし、規格の構成及び技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。ただし、ISO 105-F10 の追補（amendment）については、編集し、一体とした。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書 JB に示す。また、附属書 JA は対応国際規格にない事項である。

1 適用範囲

この規格は、染色堅ろう度の試験に用いる添付白布について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 105-F01:2001, Textiles—Tests for colour fastness—Part F01: Specification for wool adjacent fabric

ISO 105-F02:2009, Textiles—Tests for colour fastness—Part F02: Specification for cotton and viscose adjacent fabrics

ISO 105-F03:2001, Textiles—Tests for colour fastness—Part F03: Specification for polyamide adjacent fabric

ISO 105-F04:2001, Textiles—Tests for colour fastness—Part F04: Specification for polyester adjacent fabric

ISO 105-F05:2001, Textiles—Tests for colour fastness—Part F05: Specification for acrylic adjacent fabric

ISO 105-F06:2000, Textiles—Tests for colour fastness—Part F06: Specification for silk adjacent fabric

ISO 105-F07:2001, Textiles—Tests for colour fastness—Part F07: Specification for secondary acetate adjacent fabric

ISO 105-F09:2009, Textiles—Tests for colour fastness—Part F09: Specification for cotton rubbing cloth

ISO 105-F10:1989, Textiles—Tests for colour fastness—Part F10: Specification for adjacent fabric: Multifibre 及び Amendment 1 (2009) (全体評価: MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。